

## 第89回 教育研究評議会記録

日時 平成23年12月21日(水) 午後1時00分～午後3時15分  
場所 第1会議室  
出席者 野口学長、富崎理事、中島理事、齊藤理事、三野文学部長、塚原理学部長、  
今岡生活環境学部長、岩渕人間文化研究科長、内田、小路田、荒木、角田、三木、  
増井、栗岡、棚瀬各評議員  
列席者 今井監事、外嶋総務・企画課長、大原研究協力課長、水谷財務課長、  
人見施設企画課長、藤熊学務課長、渡邊学生生活課長、竹下入試課長、  
小田原国際課課長補佐

議事に先立ち、前回の記録を確認。

### I 審議事項

#### 1. 学内諸規程の制定等について

##### (1) 奈良女子大学附属学校運営会議規程の一部改正(案)について

学長から、資料1-1により、規程改正の趣旨及び改正案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、平成24年4月1日付けで施行することとした。

##### (2) 奈良女子大学女性研究者養成システム改革推進本部運営規則の一部改正(案)について

総務・企画課長から、資料1-2により、規則改正の趣旨及び改正案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付けで施行し、平成23年12月1日から適用することとした。

##### (3) 奈良女子大学育児奨学金規程の制定(案)について

学生生活課長から、資料1-3により、規程制定の趣旨及び内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、平成24年4月1日付けで施行することとした。

### II 報告事項

#### 1. 第94回役員会について

学長から、11月25日に開催された第94回役員会の審議事項等について報告があった。

#### 2. 平成24年度概算要求等について

学長から、11月24日に磯田文部科学省高等教育局長を訪問し、本学が実施している諸改革事項及び現在検討を進めている組織見直しの概要について説明を行い、大学改革はタイミングとスピードが大事であること、女子大学の特長を生かし、機能強化に重点を置いた改革を進めることなど高等教育局長から改革の方向性について助言があったこと、また、12

月6日に来校された文部科学省高等教育局国立大学法人支援課係長に対しても、本学の組織見直しについて説明したことについて報告があった。

引き続き、12月5日に開催された国立大学協会臨時学長懇談会において、文部科学省高等教育局長等から説明のあった国家公務員の給与削減への対応及び文部科学省関係の平成24年度概算要求の状況等についての報告があり、併せて、資料2-1の大臣折衝資料及び資料2-2の新聞記事により、平成24年度予算では、国立大学改革を強化推進するためにこれまでにない深度と速度で改革を行う大学に対して重点的支援を行うよう見直していることの説明があり、本学も機会を逸することなく予算要求が可能となるよう学内の組織見直しを加速して進めるよう要請があった。

なお、資料2-1は、会議終了後回収した。

### 3. 部局長等の選考日程について

学長から、資料3により、今年度で任期が満了する部局長等の選考日程について確認があり、部局における候補者等の選考について依頼があった。

### 4. 奈良女子大学大学院人間文化研究科規程の改正について

人間文化研究科の代議員会の議に基づき制定された人間文化研究科規程の一部改正について、人間文化研究科長から、資料4により、改正の趣旨及び内容について説明があり、平成23年11月24日から施行し、平成23年10月1日から適用するとの報告があった。

### 5. 冬の電力需給対策について

学長から、文部科学省からの通知により、今冬の電力需要対策として昨年同月の使用最大電力を基準電力とした10%以上の節電要請があったことから、本学では10%削減を目標として節電対策を実施することとし、各部局において夏季同様に具体的な節電対策の実施計画を立てて協力願いたいとの要請があった。

このことについて、種々意見交換があり、授業時間外に少人数による不必要な教室使用がないよう対処することとし、次の事項については、施設企画課において対応願うこととした。

- ①ガスまたは電気の区別により節電対策ができるよう各部屋の空調機種を調査する。
- ②節電対策の実施前後の電力量変化がわかるよう数値化して周知する。
- ③センサにより点灯する廊下の電灯を間引く。
- ④休日でも常時電力を使用するものを調査し、ベースとなる電力量を確認する。

### 6. 各室からの報告等

- (1) 障害学習支援室から、各部局に分散して設置していた難病の学生の学習支援等に関する図書について、一括して図書館で配架し利用しやすくすることとしたとの報告があった。

- (2) 学習支援室から、教職員及び学生を対象に実施したアンケートの集計結果がまとまり関係各室等へ情報提供をする予定であること、また、来年度からピアサポート体制による履修相談を試行する予定であることの報告があった。
- (3) セクシャル・ハラスメント等防止・対策委員会から、12月16日(金)にハラスメント防止に関する研修を実施し、約40人の参加があったことの報告があった。
- (4) 教育計画室から、平成24年度用シラバスの形態について、教育研究評議会での意見も含めて検討した結果、本年度のシラバス冊子体と同様の形態にすることにしたこと報告があった。

## 7. その他

### (1) 新年互礼会の開催について

総務・企画課長から、平成24年1月4日(水)16時30分から大学会館2階大集会室において新年互礼会を開催し、学長の年頭所感の後に食堂において懇談会を予定していること案内があった。

### (2) 奈良経済同友会との交流・懇談会について

富崎理事から、1月16日(月)15時30分からG101教室において、奈良経済同友会との交流・懇談会を実施すること案内があり、出席について依頼があった。

### (3) 女性研究者養成システム改革加速事業の講演会について

富崎理事から、女性研究者養成システム改革推進本部の主催により、1月26(木)15時から外部資金獲得の促進のための講演会を実施することについて資料により案内があり、各部局の教職員及び学生に対して積極的に参加するよう周知依頼があった。

### (4) その他

評議員から、本学の組織見直しの進捗状況と、今後の検討の進め方について確認があり、このことについて種々意見交換がなされ、次回1月開催の教育研究評議会において学長から教育組織見直しの最終案を提案することとした。

以上